

## 令和6年度第4回島根県幼児教育推進協議会 議事概要

日時：令和6年11月15日（金）13：30～15：30

会場：サンラポーむらくも ちどりの間

### 出席者

- 委員：小山 優子 座長（公立大学法人島根県立大学人間文化学部 教授）  
西谷 正文 委員（島根県私立幼稚園連合会 理事長）  
川上 雅文 委員（荒茅保育園 園長）  
相山 慈 委員（認定こども園あさりこども園 園長）  
塩満 恭子 委員（認定こども園神田保育園 園長）  
今岡 篤子 委員（島根県幼児教育研究会 会長）  
安達 利幸 委員（島根県小学校長会 会長）  
長岡 和志 委員（松江市保育所（園）保護者会連合会 会長）  
持田 万規子 委員（松江市こども子育て部こども政策課 保育指導官）  
八束 政義 委員（島根県教育庁特別支援教育課 課長）※当日欠席
- 事務局：石橋 裕子（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 室長）  
野島 博行（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 企画幹）  
宮崎 次光（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 指導主事）  
岩成 佳子（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 指導主事）  
永島 千津子（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 幼児教育コーディネーター）  
小笹 栞太（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 主事）  
梶谷 美鈴（島根県健康福祉部子ども・子育て支援課 課長補佐）  
山田 大翔（島根県健康福祉部子ども・子育て支援課 主事）

### 1 開会

- ・挨拶（島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 室長）
- ・資料確認
- ・事務連絡

### 2 議題

- (1) しまねの架け橋期の教育ガイド素案検討 資料1
- (2) パブリックコメントの実施（案） 資料2
- (3) 今後のスケジュール 議事次第

### 3 議事内容

議題 (1) しまねの架け橋期の教育ガイド素案検討 事務局より説明 委員より意見・質問  
(事務局 資料1「しまねの架け橋期の教育ガイド(素案)」について説明)

※議事概要では資料1についての説明を省略

(委員 意見・質問)

- ・脱字、誤植等の指摘

(事務局 回答)

- ・指摘のあった箇所を修正したい。

(委員 意見・質問)

- ・「I「島根県幼児教育振興プログラム(本文中では、「島根県」が抜けている)」改訂の趣旨」  
1改訂のねらい」について、令和2年の策定時から、こども家庭庁の「はじめの100カ月の育ちビジョン」の策定や新型コロナウイルスによる学校現場の変化などがおこっているが、そのことについては記載しないのか。

(事務局 回答)

- ・内容を検討し、記載したい。

(委員 意見・質問)

- ・ガイドに書く内容、ガイドに島根県HPのQRコードを載せて随時更新する内容はどのように整理するのか。

(事務局 回答)

- ・随時更新するものとして、県の取組や研修について、QRコードを載せる。また、幼児教育施設における地域を活用した取組事例や施設内研修における取組事例についても、QRコードを載せて紹介したい。

(委員 意見・質問)

- ・幼児教育施設の地域を活用した取組事例や施設内研修における取組事例は、QRコードではなく、ガイドのなかで載せてほしい(書いてほしい)。
- ・ガイドに載せてあると、研修等のサンプルとして、他の幼児教育施設は参考になる。
- ・様々な施設種の幼児教育施設があるなかで、わかりやすいガイドとして必要だと思う。

(事務局 回答)

- ・ガイドは、県が示す基本的な考え方を掲載するため、取組事例を掲載する場合、内容については十分検討したい。

(委員 意見・質問)

- ・地域を活用した取組事例を提供したが、他にも、たくさんの地域を活用した取組があるので、仮にガイドに掲載する場合は、その中の1つとして紹介してほしい。

(委員 意見・質問)

- ・「遊びこむ」や「地域」など話のテーマのなかで、文章を読んでもなかなかイメージがでない重要な考え方や内容について、理解ができる写真やイメージ図が挟まれているといいと思う。QRコードで紹介予定の取組事例をどこか、ガイドのなかで載せられないか。

(委員 意見・質問)

・具体例があるとよい。

(委員 意見・質問)

・HP 上だけでもいいと思う。

・「参考資料 4 幼児期の学びを小学校につなげる」について、解説付きの取組事例があるとよい。

(委員 意見・質問)

・ガイドでは、特別支援教育など色々なことが網羅されているが、その中に、ICT 教育、人権教育、国際理解、SDG s なども網羅されていると、取りこぼしのない充実した資料になると思う。

(委員 意見・質問)

・文章の量、掲載の仕方について事務局で検討をしていただきたい。

(事務局 回答)

・県下全ての幼児教育施設の状況が把握できていないなかで、1つの園の取組事例をガイドに掲載することによって、県としてバランスを欠かないか危惧している。

・ただ、「参考資料 4」の視点は、まだまだ課題があるので、そこについては例示したものを掲載することはよいかもしれないと考えている。

(委員 意見・質問)

・実践するときに、イメージがないとまねできない。県は配慮すべきことがあると思うが、いい取組事例は掲載すべきだと思う。

(事務局 回答)

・QR コードで随時更新すれば、パブリックコメントまでのスケジュールの都合で掲載ができない、実践的な好事例の取組も紹介することができる。QR コードを載せることで、今後の好事例の取組も随時紹介することができる。

(委員 補足説明)

・QR コードはフレッシュ(最新)な情報を更新できることがメリット。それに加え、紙に1つモデルの取組事例を掲載するのが良いと思う。

・「VI 小学校における取組 1 小学校生活スタート期の工夫 (1) 小学校スタート期の重要性」の表について、動詞、体言止めの表現などが混在している。

・「VI 1 (1)」に「小学校の全ての教職員が1年生の子どもの関わりや支援のあり方について共有することが不可欠」とあるが、いつも強く思っていたこと。書いてあると、校内研修等でしっかり活用できる。

・「VI 1 (2) 架け橋期の子どもの発達段階を考慮した円滑な接続」について、「ii 考えないスイッチを入れない」とあるが、前向きな表現に変えることができないか。

・「IV 取組の方向性 2 子どもを中心につなぐ幼小連携・接続(本文中では、「しまねの」が入る) (1) 対話を通した子どもの育ち・学びの相互理解」について、「幼児期の終わりまでの育ってほしい姿 (10 の姿) を手がかりにした幼小のつながり」の表があるが、参考にな

る。これを日々の指導案と結びつけて生かせるとよいと思った。

(委員 意見・質問)

・「IV 2 (1)」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (10 の姿) を手がかりにした幼小のつながり」の表中に、「保育者・教師の支援 (例)」とあるが、共通の視点か。

(事務局 回答)

・共通といえないところもある  
・書いてあることは、幼小が 10 の姿を手がかりに対話を進めていくときに、それぞれ保育者と教師がどのような支援ができるかの話題 (たたき台)。

(委員 意見・質問)

・ガイドの中では、幼小の段差 (違い) が紹介されているが、ここではあえて、保育者と教師、支援者側に共通するものを取り上げていると思った。校種は違っていても共通していることもあるということを理解する上でも、この表はよいと思う。

(委員 意見・質問)

・保幼小の園内研修や小学校の校内研修などの際に、子どもたちの「育っているところ」や「みられる姿勢」「生かされている」ところなどが確認できる表になっている。  
・このまま掲載し、どう活用するか考えていただきたい。

(委員 意見・質問)

・幼小の交流活動の視点からもよいと思う。

(委員 意見・質問)

・「IV 2 (3) 学びをつなぐ～幼小の接続とは～」の中の「i 幼小の違い」のなかで、様々な例が挙げられているが、幼児教育施設から小学校へ入学した時にはこのような状態になってないといけないと誤解されないか。表現をもう少し柔らかくできないか。

(委員 意見・質問)

・「VI 1 (2)」の「i 架け橋期の子どもの発達段階等の理解」で出てくる小学校スタート期 2 週間の 10 分間から 15 分程度の時間設定の話等と幼小の違いの話を組み合わせながら、うまくつないでいけばよいと思う。

(委員 意見・質問)

・本文中に幼小連携という言葉が頻出するため、言葉の説明があるとよい。見る人によっては、保育所等が含まれていないと誤解されかねない。

・「IV 2 (4) 架け橋期のカリキュラム開発」の中の「iii カリキュラム開発の 4 つのフェーズ (段階)」のうち、「幼小合同会議」とあるが、ここでは、「幼保小合同会議」の方がわかりやすいのではないか。

(委員 意見・質問)

・「こども園」の「こ」も入る。

(事務局 回答)

・冒頭に用語の説明・解説はあるが、きめ細やかに注釈を入れたい。

(委員 意見・質問)

・「IV 1 めざす子ども像実現のための視点 (2) 発達の段階をふまえた保育・教育(本文中は「保育・保育」となっている)のうち、大切にしたい視点として、「幼児期における発達の個人差に留意した発達のめやすの理解」とあるが、「参考資料 1 幼小をつなぐ発達のめやす(表)」とリンクするなら、その説明が必要。

・「IV 2 (1)」の中の「ii 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりとした対話の例」のうち、「10 の姿について語る」「育ちや学びについて語る」「授業や保育の参観を通して語る」の項目をタイトルに合うように分かりやすく整理した方がよい。タイトルにあっていない項目が混在している。

(委員 意見・質問)

・本文中の表記で、「教師」と「教職員」が混在している。統一をしたほうがよい。

・「IV 2 (2) 幼小をつなぐ発達のめやすの共有」の本文中には、「発達において育みたい3つの力」と「島根教育振興ビジョンで掲げる3つの力」のつながりが書いてあるが、双方とも3つ力で、つながりがわかりにくい。

(事務局 回答)

・「発達において育みたい3つの力」が総合的に育まれていくことが、県の「島根県教育振興ビジョンで掲げる3つの力」につながるということを書いている。

(委員 意見・質問)

・「発達において育みたい3つの力」と「島根教育振興ビジョンで掲げる3つの力」は、「違うが、繋いでいかないといけない」のようなニュアンスの説明があるとよいのでは。言葉をもう少し足すとよいと思う。

(事務局 回答)

・架け橋期を1つの核にするが、0歳から6歳までの育ちと学びをしっかりとつなぐことが、島根教育振興ビジョンの基本目標につながっていく。そのために、関わる大人がしっかりと支援していくということを、「IV 2 (2)」で載せることで検討していきたい。

(委員 意見・質問)

・島根県教育振興ビジョンの記述があるときは、「島根教育振興ビジョンは P〇〇参照 (〇はページ数)」など書いてあると、読みやすくなる。

・「IV 2 (2)」の「発達において育みたい3つの力」は、「0歳から6歳までの発達において育みたい力」と入れてあると、幼児教育のことを言っているとわかる。

・幼児教育のことや小学校教育のことを言っているところがあり、どちらかわからなくなるため、はっきりするような書き方にしてほしい。

・「V 幼児教育施設における取組 2 施設内研修における人材育成 (1) 保育者に求められる専門性」に、「3歳児未満の保育所利用は高く、」と書かれているが、島根県のことを言っているか。

(事務局 回答)

・島根県のことを書いている。

(委員 意見・質問)

・(事務局の回答をうけて)そうであれば、島根県の状況であることがわかるように書くべきだと思う。

・島根県は保育所の利用割合が多く、0歳から3歳、小学校就学前の3歳から6歳どれも大事。「V 2 (1)」に、「0歳児からの情緒面の成長を支える保育者の役割は大きい」とあるが、「発達をしっかりと抑えながらつながって育てていくことが大事」などの文言を加えて、説明をするとよいと思う。

・「VI 1 (2)」の、「ii 考えないスイッチを入れない」について、教師がルールやきまりなどを言いすぎてはいけなかと捉えられないか危惧している。指示ばかりを出すのはいけないが、ルールや決まりは伝えていくべきだと思うので、その点を入れてもらえないか。また、小学校スタート期において、色々なことができない子どもについては「温かく個別に対応する」視点がもてるニュアンスの文章を書きただけでないか。ただし、変に曲解されない伝え方が大事となる。

(事務局 回答)

・ご指摘のとおり言葉は変えるが、先の委員が言われたような意図で書いたつもり。

(委員 意見・質問)

・「V 1 めざす子ども像実現のための幼児教育の取組 (3)円滑な接続を支える特別支援教育(保育における特別支援教育の視点)」について、幼児教育施設に通う特別な支援を必要とする子どもは、小学校通常学級、特別支援学級、特別支援学校、進む先が様々。進む先はどうつながっていくかについて、書かれていることは、小学校通常学級に進む場合のことが中心となっている。

・小学校に入学すると、学ぶ場所や学び方が幼児教育施設と違って来る。そのあたりをどこまで書けるか、つないでいくか。そのあたり、執筆者に考えていきたい。

(委員 意見・質問)

・以前、文部科学省幼児教育課より幼小連携・接続のことについてお話を伺ったが、そこでは、行政の役割が重要だとおっしゃっていた。しかし、幼小連携・接続の取組には、小学校の校長先生の強いリーダーシップも必要だと思う。1校に複数園から入学してくる場合が多いなか、幼児教育施設から話を持っていきにくい。小学校の校長先生から話を持ってきけると、動きやすい。

(委員 意見・質問)

・幼小連携・接続は、組織的に動かなければ進まない。

・「IV 2 (4)」に「iiiカリキュラム開発の4つのフェーズ(段階)」があるが、カリキュラム開発など実際に動かし行く中で、行政がどう絡むかについて述べていただくとよい。

(事務局 回答)

・「II円滑な幼小連携・接続のために大切にしたい2つの柱 柱2 架け橋期の教育の充実のための一体的支援 (2)子どもに関わる関係者の一体となった支援」のところの図で表しているが、文章としては不十分かもしれない。いただいた意見をもとに書いていきたい。

(委員 意見・質問)

・「I3 県の取組 (1)しまねの教育振興ビジョン」に書かれている基本目標を実現するために、幼小連携・接続を推進していくと思うが、そのための施策、今後の方向性についての説明を加えるべきだと思う。基本目標実現のため、島根県として、これからどうしていくかが、明確にわかる。

(委員 意見・質問)

・ガイドにはいい実践をあげながら、HP でも随時更新するなど、そのような形で仕上げしてほしい。

#### 議題 (2) パブリックコメントの実施 (案) 資料 2

##### 事務局より説明

- ・パブリックコメントを実施予定
- ・実施前には委員に内容を確認していただく。確認後、パブリックコメントを行う。
- ・パブリックコメントで受けた意見をもとに、素案を作成。次回の協議会でご意見を伺う。

#### 議題 (3) 今後のスケジュール 議事次第

##### 事務局より説明

#### 4 閉会

- ・お礼の挨拶 (島根県教育庁教育指導課幼児教育推進室 室長)